

活動報告

団体名	船木地域支援センター
活動名	H30年7月豪雨被災者支援と地域の復旧・復興のための活動
活動期間	2018年7月～2019年3月
活動の成果	<p>【実施内容についての成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・元気をだそうかい、ふなき発見きち、出張café、ピアノコンサート、新春茶会などの開催にあたっては、参加者の地域を限定したり被災者のみと限定しなかったことで、誰でも利用することのできる場として認められた。 ・コーディネーターを配置することで、内部の運営だけでなく外部団体との調整や広域への情報発信などを行い、多くの支援を受けることができた。 ・毎月月間の行事予定を作成し、行政や社協と連携して地域の回覧板だけでなく、みなし仮設・仮設など自宅以外で生活する人や大和町などにもチラシを送ることができたので、すこしずつ認知され多くの人々が利用するようになった。 ・物資を取りに来るだけでなく、船木地域支援センターに足を運びやすい催しを頻繁に開催して「しゃべる場」「集う場」を提供したことで、用がなくても話に来る人や様々なことを相談に来る人などが増えた。 <p>継続的に旧船木小学校で支援活動を行うことで、本郷町内だけでなく三原市全域から利用していただけるようになり、行政や社協との連携が取れるようになりました。メディアでも繰り返し取り上げていただいただけでなく、一度来た人が友人を連れてきてくれるなど、口コミが広がったこと、被災した人もしていない人も同じ場所に集まって交流することができるようになったことは、運営者として非常に嬉しいことです。</p> <p>また、ボランティア経験のあるコーディネーターを配置したことで、全国からの支援の申し出を積極的に受け入れることができたこと、他団体との連携がとれたこと、各方面からの支援が受けられたことなど、立ち上げ当初に予定していたよりも幅広い活動となりました。</p> <p>自宅の再建が進むにつれて、被災された人もボランティアとして片付けや物資運搬の手伝いをしてくださったり、手作りサークルやヨガ教室が発足したりと、地域の交流施設としても活用していきたいという思いが形になりました。</p> <p>甚大な被害を受けた三原市ですが、活動する中で繋がった人や地域の皆さんの活動を大切に、地域コミュニティがこれまで以上に強くなり元気なまちづくりに進めていきたいと思えます。</p>
寄付者へのメッセージ	<p>この度は西日本豪雨災害に対し、全国の皆さまからのご寄付をいただきましてありがとうございました。</p> <p>今回の助成金をいただいたこと、全国の皆さまのお力をお借りできたことで、廃校となった旧船木小学校を拠点に継続的に活動し、船木地域支援センターは災害直後には想像できなかったような交流の場として成長させていただきました。</p> <p>生活再建は進みつつありますが、公共工事や河川の整備については課題も多く、今年も雨が多くなるこれからの時期に不安を口にする住民も多いので、いつでも集うことのできる地域コミュニティの場として「災害後の心のケア」を中心にこれからも活動してまいります。</p>

(活動のようす)

